

進路指導だより

「さがろうショップ」（職業科校外販売会）がありました

職業科（産業工芸科・被服科）におけるキャリア教育の取り組みとして、11月22日（火）に校外販売会をコープさが新栄店で行いました。



校外販売会（製品づくり、販売活動）の狙い

- 販売を目的とする製品をつくることで生徒たちの就労意識や働く力を高める。
- 接客をとおして、挨拶やマナー、聞こえる人とのコミュニケーションを実践し、社会参加の力を伸ばす。
- 自分たちがつくった製品をお客様に購入していただくことで働く意義や喜びを感じる。
- 校外活動を通して、ろう学校や聴覚障害についての理解を広げる。



販売会に向けて、製品づくりだけでなく、生徒たちは販売の準備（値札貼りなど）や練習（レジ、商品渡しなど）をしたり、職員も宣伝のためにチラシやポスターを作って配布したりと、生徒も職員もしっかり準備を行いました。

当日は、開店前に商品の搬入や陳列を行い、開店後はレジや袋詰め、チラシ渡しなどの役割を果たし、笑顔で丁寧に接客することができました。

生徒たちは校外での販売活動が初めての体験でしたが、お客様に商品を買っていただいたり、製品の出来栄えや販売を頑張っている様子をほめていただいたりすることが嬉しかったようです。

また、販売会後は学校で反省会を開きお互いの頑張りを労い合いました。

このような体験をとおして、生徒たちも仕事の厳しさや喜び、働く意義について感じ取ってほしいと思います。また、ろう学校や聴覚障害への理解が広がり、生徒たちの一般就労や社会参加につながることを期待しています。

（裏面につづく）

はんばいかい ようす
販売会の様子 ※佐賀新聞（12月1日）に校外販売会の記事が掲載されました。



進路のおはなし～「福祉的就労」について①

「福祉的就労」とは、「一般就労」で働くことが難しい人のために、就労訓練や働く場を提供する福祉サービスです。つまり、福祉的就労で働く＝福祉サービスの利用となります。

「福祉的就労」では、作業時間や作業量は利用者の希望に応じてもらえたり、障害への支援を受けたりすることで、無理なく働くことができます。また、就労訓練を重ね一般就労に移るケースも多くあります。

「福祉的就労」を提供する事業所（働く場）

には、サービスを受ける内容ごとに、

- ① 就労継続支援A型
- ② 就労継続支援B型
- ③ 就労移行支援

の3つの種類があります。次回から、それぞれの福祉サービス事業所について紹介します。



一般就労 ・ 就労継続支援A型 ・ 就労継続支援B型 ・ 就労移行支援

就職

福祉的就労